

6. 大谷高校で学んだこと

本当の強さ

自分は大谷高校に入学して、受け入れる強さを学びました。これは野球部の監督がよくおっしゃっていた言葉です。自分は小、中と野球をしてきました。小、中ともに人数の少ないチームでプレーし、試合には苦勞なく出させてもらえました。たとえ大きなミスをして、次の試合も当たり前のようにポジションにつける。そんな環境の野球をしてきました。

そして高校になり、上下関係も厳しい大所帯のチームの中で競争が始まっていきました。野球のプレーはもちろん、それ以外の学校生活でも、他の者に、己に勝たなくてはなりません。自分の小ささ、失敗や弱さを受け入れられない部分が浮き彫りになっていきました。否定や言い訳など誰でもできることです。「自分に非がある、悪いんだと認めることが本当の強さなのだ」とだんだんわかりました。

これからは県外に出て一人暮らし、さらに先輩との関係など、たくさん辛いことがあると思います。そんな時、自分に矢印を向けられるか。辛抱強く頑張っていきたいと思えます。

(三年男子)